

# 医獣連携で挑む、新しいがん治療への可能性

私たちの研究は、どうぶつ、特にイヌにできるがんの治療効果を高めるための新しい方法を開発するものです。シリカナノ粒子という非常に小さな粒と放射線治療を組み合わせることで、がんをより効果的に攻撃することを目指しています。この研究は、どうぶつと人の両方のがん治療の発展につながる可能性があります。



## なぜこの研究が必要？（研究の背景・課題）

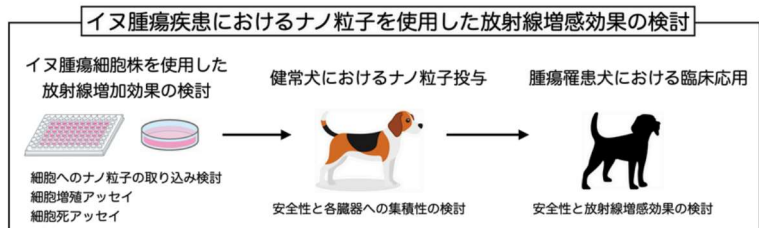
がんの放射線治療は重要ですが、すべてのがんや進行したがん十分に効果があるわけではありません。治療への抵抗性を示すがんに対して、放射線の効果をさらに高める新しい技術が求められています。

どうぶつに自然に発生したがんは、人間のものと似た特徴を持つことが多く、どうぶつでの研究は、新しい治療法の開発や、それが人間にも応用できる可能性を探る上で非常に役立ちます。

## 具体的に、どんなことを研究しているの？（研究内容・技術の概要）

具体的には、まずイヌのがん細胞を使い、開発されたシリカナノ粒子が放射線治療の効果をどのくらい高めるかを詳しく調べています。がん細胞がナノ粒子と放射線によって、どのように増殖を止めたり死滅したりするかを観察しています。

このナノ粒子は、医学部の研究グループが開発したもので、がんの組織に集まりやすい特徴を持っています。



この研究が進むと、どんな未来につながるの？  
（実用化・社会への貢献）

この研究が進むと、現在治療が難しいどうぶつのがんに対して、放射線治療の効果を飛躍的に高める新しい治療法が実現する可能性があります。これにより、病気と闘うどうぶつたちが、より長く、質の高い生活を送れるようになることを目指します。さらに、どうぶつでの研究で得られた知識や技術は、人間の放射線治療の進歩にも貢献する基盤データとなることが期待され、人とどうぶつの両方の健康と幸せに貢献できると考えています。



## 医・獣トランスレーショナル臨床研究部門

（獣医放射線学研究室）

がんになってもその中でどうぶつが生活の質を保ちながら、動物と家族と共に穏やかに暮らせるよう、目的にあった治療法の提示や放射線治療を提示しています。

